

# 令和4年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書(概要版)

令和4年8月  
教育部教育総務課

## 1 取組の概要

【報告書】参照  
P4~13

(1) 実施日 令和4年4月23日(土) 午前8時30分から午後1時30分頃まで

(2) 実施場所 市立全小・中学校(28校), 大町スポーツ施設(市統一テーマ訓練のみ)

(3) 当日のタイムスケジュール(※詳細は各学校で異なる。)

時間	学校教育活動(例)	市統一テーマ訓練 「感染症対策を踏まえた避難所開設訓練」
8:45		
9:15	1校時 防災啓発講話	市職員・地域の方集合 ・自己紹介 ・一日の流れの説明 等
9:30		
9:45		
10:15	2校時 「命」の授業	
10:45	3校時 安全指導	避難所開設訓練
11:00	避難訓練 ・校庭への避難 ・講評(校長・消防署員)	
11:20	下校	
12:20		意見交換
13:00		片付け・消毒, 終了連絡
13:30		解散

(5) 参加者数(人)

参加者区分	令和4年度	令和3年度	令和3年度比
学校(教職員, 児童・生徒)	16,967	16,685	282
保護者	0	0	0
地域	289	0	289
市職員(避難所担当職員・初動要員等)	510	490	20
消防・警察職員(消防団員を含む。)	45	43	2
<b>合計</b>	<b>17,811</b>	<b>17,218</b>	<b>593</b>

(4) 感染症対策について

- ・学校教育活動(「命」の授業・防災啓発講話)は, 保護者・地域の方への公開を中止, 避難訓練後の保護者への引取訓練についても中止
- ・市統一テーマ訓練「感染症対策を踏まえた避難所開設訓練」は, 避難所体験(小6児童・中3生徒とその保護者)を中止
- また, 訓練の場所は, 体育館・校舎外回りに限定し, 児童・生徒との動線を分離したうえで実施

実施校	令和4年度	実施日
東京都立調布北高等学校	238	4月16日
東京都立調布南高等学校	705	4月20日
東京都立神代高等学校	855	5月18日
明治大学付属明治高等学校・明治中学校	1,400	4月26日
晃華学園中学校高等学校	957	5月9日
桐朋女子中学校・高等学校	1,835	6月1日
ドルトン東京学園中等部	510	4月22日
計	6,500	

◎上記の都立高校・私立学校の参加者数は, 左表に含まれていない。また, 都立・私立学校における取組は, 防災教育の日(4月の第4土曜日)に限らず, 周辺の日程を含めたうえで実施を依頼

## 2 学校教育活動の取組

【報告書】参照  
P48~86

(1) 「命」の授業・防災啓発講話

- ・児童・生徒に命の尊さや「自らの命は自らが守る」意識を高める「命」の授業を実施
- ・調布消防署員・国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所職員による, 地震・水害をテーマにした防災啓発講話(録画)を実施
- ・東日本大震災の被災地等の講師による, 実体験に基づく防災啓発講話を実施

(2) 避難訓練

- ・全学年が校庭へ避難する訓練を実施した。また校庭への整列後, 学校長及び調布消防署員(市立小・中学校希望校に派遣)から避難訓練についての講評を実施

▼消防署によるVR被災体験(染地小)



▼国土交通省職員による水害に関する講話(録画)(滝坂小)



▼校庭への避難訓練(第四中)



## 3 市統一テーマ訓練の実施(感染症対策を踏まえた避難所開設訓練)

【報告書】参照  
P16~19

(1) 訓練概要

- ・避難所開設時に各学校避難所に参集する市職員と地区協議会等の地域の方との協働により, 令和元年台風19号における避難所開設時の課題や感染症対策を踏まえた訓練を実施

▼感染症対策を踏まえた避難スペース設置訓練



▼応急給水訓練



(2) 訓練内容

- ・校門の開錠方法の確認, 総合案内・ベト避難場所の確認, 建物利用調査・体育館の開錠方法の確認, 避難所利用計画図を用いた図上訓練, 応急給水訓練, 体育館における感染症対策を踏まえた避難所開設・受付訓練, 避難所運営本部(教育会館)との通信訓練 等

(3) 訓練参加者数 851人(市職員510人・教員52人・地域住民289人)

## 4 連携・協働の取組

【報告書】参照  
P7~11

(1) 調布消防署との連携

- ・【新規】地震をテーマにした防災啓発講話(録画)を小学校低学年・中学年・高学年及び中学生向けに分けて作成し, 実施希望校にて視聴
- ・避難訓練時における講評等のため, 署員を派遣(希望校対象)
- ・「命」の授業, 防災啓発講話の講師として, 毎年の輪番校として4校に署員を派遣(緑ヶ丘小・染地小・北ノ台小・第六中)

(2) 調布警察署との連携

- ・毎年の輪番校として2校に防災啓発講話の講師を派遣(第三小・調布中)

(3) 【新規】国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所との連携

- ・水害をテーマにした防災啓発講話(録画)を小学校低学年・中学年・高学年, 中学生向けに分けて作成し, 実施希望校にて視聴

(4) 【新規】(公社)東京都獣医師会多摩東支部との連携

- ・国領小学校において, ベット避難場所についての検証
- ・同行避難の際の留意点に加え, ケージ等を用いながらベット避難に関する講話を実施

(5) 地域との協働

- ・令和元年台風19号における避難所開設後, 初めて市立全小・中学校, 大町スポーツ施設において, 地区協議会等の地域の方と協働による訓練を実施
- ・【新規】地域学校協働本部のコーディネーター及び防災市民組織の方も訓練に参加

(6) NPO法人調布心身障害児・者親の会, 【新規】一般財団法人調布市民サービス公社との協働

- ・第三小学校において, NPO法人調布心身障害児・者親の会, 一般財団法人調布市民サービス公社と連携し, 福祉避難所開設訓練を協働で実施
- ・震災時における福祉避難所開設の流れの確認, 西部地域福祉センターへの要配慮者移送訓練, 意見交換会を実施

(7) 市内都立・私立学校との連携

- ・東京都立調布北, 調布南, 神代の各高等学校, 明治大学付属明治高等学校・明治中学校, 晃華学園中学校高等学校, 桐朋女子中学校・高等学校, ドルトン東京学園中等部において, 避難訓練等を実施

(8) 市内企業との連携

- ・スターツOCAM株式会社の協力により, 起震車及びスタッフを派遣(第一小・富士見台小)

(9) 市長部局各部との連携

- ・初動要員, 避難所担当職員, 管理職職員が各小・中学校等において市統一テーマ訓練「感染症対策を踏まえた避難所開設訓練」を実施
- ・【新規】令和4年度新規採用の全職員が市統一テーマ訓練に参加し, 訓練後には消防大学校において地域防災に関する訓練に参加

▼避難訓練



## 5 出された意見の概要(課題)

訓練に参加した地域の方や職員から多く出された意見を抜粋

【報告書】参照  
P20~46

- ・地域の方の参加により, 活発な意見交換ができた。また, 今年度から, 新規採用職員が訓練に参加したことで, 災害対応を担う市職員の意識向上につながった。
- ・発災時に備えるとともに, 大震災を風化させないためにも, 定期的に地域の方との協働による訓練が必要
- ・避難スペース設置訓練を通じて, 想定収容人数との差が確認できたため, 避難スペース設置の際における工夫が必要
- ・災害時において避難所に従事する職員間, 避難所と本部間の情報伝達・共有を迅速に行うためのツール(アプリなど)が必要

- ・地域・学校・市で作成した「避難所運営マニュアル」と訓練内容が異なっているため, 早急にマニュアルの変更等の方向性を示すことが必要
- ・事前説明会の工夫が必要(地域の方との打合せ時間を長くするなど)の説明時間の配分, 動画配信の検討等)
- ・訓練実施を通じて出された課題は, 地区協議会等, 地域の方と共有するとともに改善した場合についても共有が必要
- ・その他, 感染症対策, 要配慮者への対応, ベット同行避難, 必要備品, 様々な状況を想定したマニュアルの整備 等

課題等の改善に向け, 地域, 関係機関, 庁内関係部署と協働・連携を図り, 検討を進めます。